

スポーツビジネス

最強の教科書

平田竹男 著 東洋経済新報社

定価・本体三六〇〇円十税

通産官僚から学界に転身した、スポーツ科学の第一人者という経歴より、Jリーグの発足、ワールドカップの日本招致、などでしこジャパン誕生とその国際的な活躍に尽力、という日本サッカー界を支えてきた第一人者として知名度が高いだろう。現在、早稲田大学大学院スポーツ科学研究科教授を務める同氏は、これまで数多くのスポーツに携わり、その振興およびビジネス化に向けて多角的に戦略を用いては、その多くを成功に導いてきた。

同書は、四〇〇ページを超える大部であること、直截的なタイトルを掲げていること、関連する諸分野いずれも豊富な資料

とデータを駆使して詳細な検証を行っている点などから鑑みて、ある種、研究の集大成と呼んでいいのではないか。国際大会等における国民の熱狂、これをビジネスとして成功させるための分析と指南が、この一冊に凝縮されている。プロスポーツにおける経営ノウハウ、「勝利」「普及」「資金」の三要素を循環させるトリプルミッション、メディアや情報通信との関係と活用方法、先行事例としての欧米の状況など、その考察はスポーツビジネスを構成する要素をあまねく網羅する。また健康志向の高まりで、住民主体の地域スポーツが活性化するなかスポーツで地域振興を図る地方自治体にとつても得られる内容は多い。いまや新興国でもスポーツ人口が増え、かかる経済効果も年々高まりを見せている。したがってスポーツがビジネス分野で一定の地位を占めるのもそう遠い将来ではないだろう。そのとき同書は、その分野に従事する誰もが一度は目を通すべき原典になるかもしれない。

